

平成29年10月18日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成29年10月18日(水) 12:15～13:15
- ・会場 長野県庁3階 第三応接室
- ・参加グループ 信州男性保育者ネットワーク
- ・懇談内容 男性保育士が本気で考える信州の幼児教育について

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) 男性保育士が増えたら

(ご意見の概要)

男性保育士が増えたら、女性だけではない視点で、子育てや保育、幼児教育の楽しさを伝えていけるため、幼児現場に対する男性の意識が高まると思います。

(知事の発言)

男性も育児に参加しましょうといっている割には、保育園は女性が多い。子育ては女性がやるものと刷り込まれているのかもしれない。

(ご意見等に対する対応状況)

県では、「第4次長野県男女共同参画計画～多様なライフスタイルが実現できる信州をめざして～」に基づき、企業・地域社会の意識改革や子育て支援策の推進を行う等、県民一人ひとりの個性や能力を十分に発揮することのできる社会の実現に向けて、県民の皆様と一緒に取り組んでいるところです。

このような社会の実現にあたっては、「固定的な性別役割分担意識の解消」が大きな課題と考えており、今後とも、地域や企業、学校などのあらゆる分野で意識改革の機会を提供し、様々な場面で男女が共に考え、共に作りあげていく社会の実現に向けた取組を行ってまいります。

【担当課：県民文化部人権・男女共同参画課】

(2) 幼児教育研究センター（仮称）をつくれたら

(ご意見の概要)

幼児教育研究センターのようなものを設置するとなれば検討委員会ができると思うが、我々も一緒に参加させてもらい、そこで意見を伝えたい。

園に定期的に保育専門相談員がアドバイスに来るが、相談員は小学校の先生経験者が主であり、園長や幼児教育に関わっている人にもなって欲しい。

(知事の発言)

幼児教育をどうしようかと考えるのは、必要だし重要。幼児教育研究センターのようなものは必要だが、子ども達は連続性を持って次のステージへ進むので、幼児教育、小学校、中学校と縦割りにするのはよくない。

(ご意見等に対する対応状況)

就学前の子どもに対する幼児教育のあり方については、初等中等教育や高等教育への展開を見据えた十分な検討が必要と認識しています。

このため、幼児教育がどのようにあるべきか、県がどのように関与していくかについて、幼児教育や保育の関係者を交えて議論し、方針として取りまとめていきたいと考えています。そうした検討のなかで、幼児教育振興のためのプラットフォームとして幼児教育支援センターが必要であるとの議論がまとまった場合は、庁内の関係部局が一体となってセンターの設置に向けて取り組んでまいり所存です。

【担当課：教育委員会 教育政策課 心の支援課】

保育専門相談員について、保育士資格有資格者の任用を順次進めていきます。

【担当課：県民文化部 こども・家庭課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp